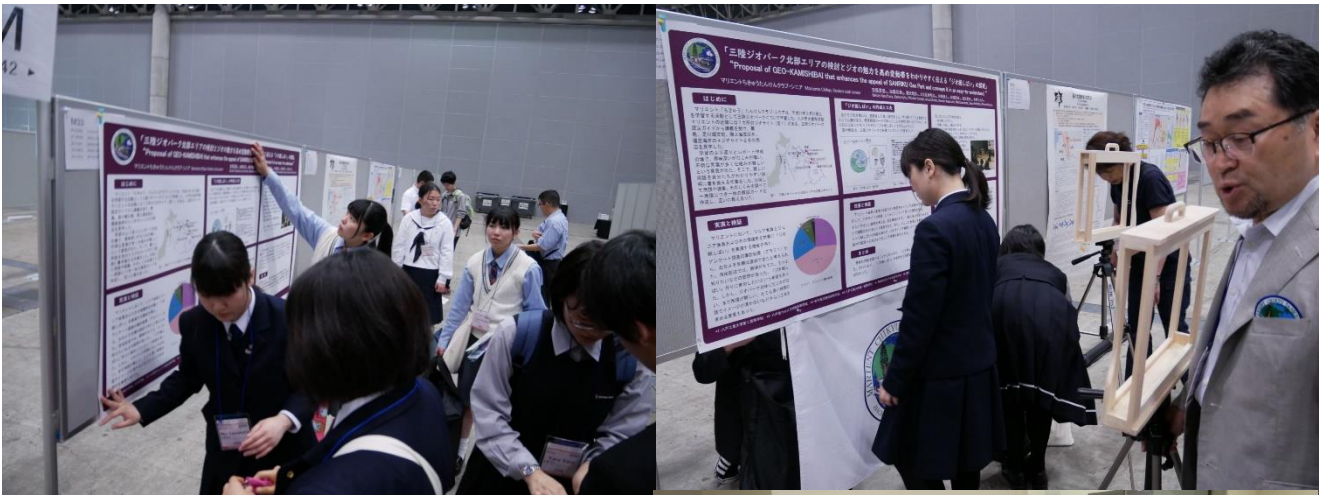


かいじょう まくはり こくさいかいぎ てんじじょう とうちやく かいじょう ひろ おお
 会場となる、幕張メッセ国際会議・展示場へ到着すると、あまりの会場の広さとスケールの大きさ、
 ふんいき いっき きんちょうかん たか
 雰囲気一気に緊張感が高まりました。



はっぴょうばしょ かくにん せつまい おこな けいじご かいじょうない けんかく
 まずは、ポスター発表場所を確認し、設営を行いました。ポスター掲示後、会場内を見学しました。



ほんばん じかん
 本番ギリギリまで時間を
 はかりながら最終確認を
 しました。

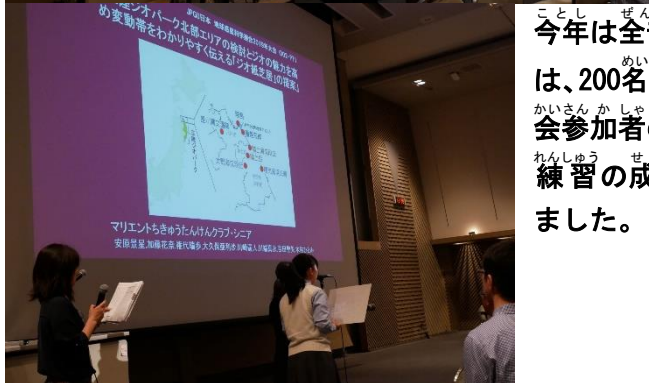
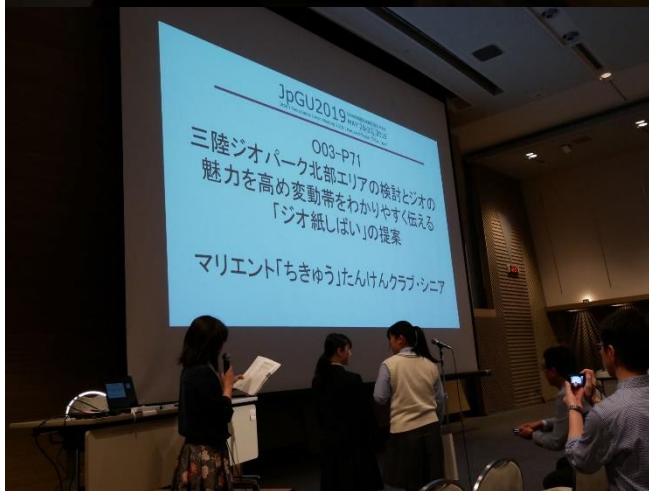
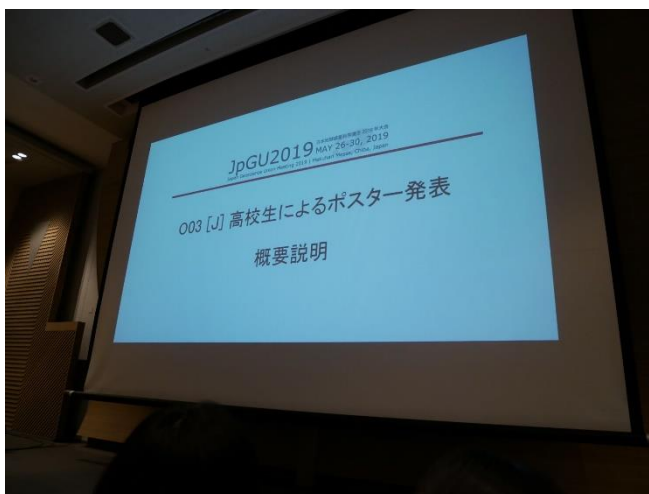
〇概要説明 11:30~12:30

(発表者：岩手県立種市高等学校 3年 権代 瑞歩、青森県立八戸水産高等学校 2年 川端 真衣)

ポスターコアタイムの前に高校生セッション参加校全てのグループによる概要説明が行われました。



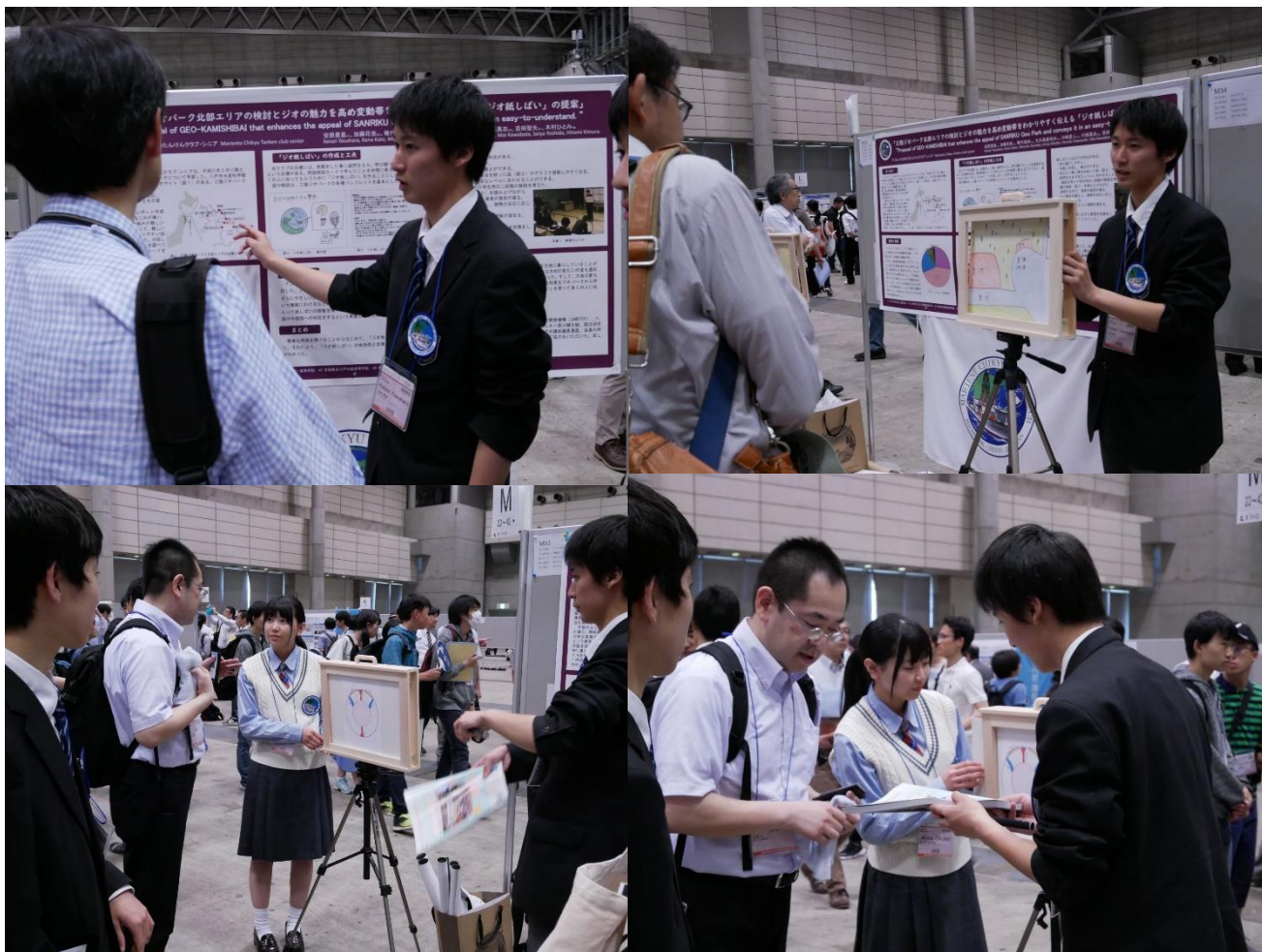
こちらはその時の様子です。1グループ45秒以内での発表となります。



今年は全部で80グループの参加数となりました。概要説明では、200名ほど収容できるほどの広い会場の中で、多くの本大会参加者の前で、71番目に発表しました。練習の成果を発揮し、息ピッタリに無事発表することが出来ました。

○ポスターセッション 003-P71 「三陸ジオパーク北部エリアの検討とジオの魅力を高め変動帯をわかりやすく伝える「ジオ紙しばい」の提案」(ポスターコアタイム 13:45~15:15)

ポスター発表コアタイムとなり、開始とともに、次々と色々な方が発表を聞いていただきました。



後ろの方で待っている方や、近くを通った方にも積極的に声をかけて説明をしたり、クラブ会員は自信を持って発表に臨みました。



時間いっぱいまで、多くの方からの質問にも協力して対応をし、クラブ会員のみんなが持っている力を最大限に発揮できたと思います。



発表を終えた会員たちからは笑顔がこぼれ、自信にみちあふれていました。



最後となりましたが、本発表にあたり、多大なる御支援・御協力をいただきました国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）、八戸市、八戸市教育委員会、国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館他、多くの関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、発表の資料作成等ご指導くださいましたたんけんクラブ・シニア 会長 高橋 晃 様、副会長 井上 貫之 様、本大会へ生徒並びに先生の参加（派遣）することの趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいました各学校の皆様、本当に有難うございました。

本大会において、多くの来場者の皆様からの質問に生徒自身で答えを導き出し、それに対し専門家の皆様からご意見をいただくことにより、会員一人一人が新たな知見と広い視野を持つことが出来たと思えます。さらに、多くの皆様に今回の取り組みと成果を紹介することができたとともに、無事発表を終えることが出来ました。これもひとえに日頃活動を支えてくださる多くの皆様方のご支援ご協力の賜物と改めて強く感じた次第です。

八戸市水産科学館マリエントといたしましては、この素晴らしい体験の機会を与えていただいた関係者の皆様へ感謝し、来年も本大会への出場を継続して挑戦して参りたいと思えます。

将来の海洋研究開発に関わり海洋の未来を切り拓く人材育成を目指して、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動の更なる充実に向けスタッフ一同さらに精進してまいりますので、今後ともご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。